

3. 発足 10 周年に向けて精神保健福祉の勉強会

グループ名：精神保健福祉ハートボランティア「うらら」

代表者：小笠原 幸子

① 活動の目的

平成 17 年、保健所による精神保健ボランティア講座を受講した方々が、精神障がいを持った人に対する正しい知識と理解を深め、安心して暮らせるように支援し分け隔てなく共に暮らす地域作りを目指す事を目的として活動を開始した。

② 活動概要

平成 18 年 1 月に発足してから 10 年目を迎え、新に勉強会を行なう事とし、講演会開催を企画した。大同生命厚生事業団からの助成金は 10 周年記念講演会開催にかかる費用の負担金として活用させていただいた。

— 「うらら」設立 10 周年記念講演会開催について—

<目的>

「うらら」設立 10 周年を迎え、精神障がいを持った人に対する正しい知識と理解を深め、共に暮らす地域作りを進める事を目的として記念講演会を企画した。

<開催日時>

平成 28 年 4 月 24 日（日）13：30～16：00

<開催場所>

八戸市総合福祉会館 多目的ホール（青森県八戸市根城 8 丁目 8-155）

<内容>

1、10 周年記念講演会 講師 青森大学社会学部教授 船木昭夫氏

演題 「精神障がい者と共に歩む」

2、活動報告 青森県精神保健福祉ボランティア協議会

（リボンの会、ほほえみの会、「エールの会」）

3、体験発表 和田昭子氏（五戸町）

テーマ「夢はニューヨークで絵の個展を開く」

記念講演会当日は、津軽方面からもお見えになり約 140 名が参加して講演、体験発表を熱心に聞いておられました。特に印象に残った事として、船木先生のおっしゃった「障がい者と共に生きる事はあたりまえの事である」との言葉が重く感じられました。又病気をかかえながらも、ものごとに前向きに取り組んでおられる和田さんやそのご家族の姿に感動致しました。



自らの体験を発表する和田昭子さん

安心して暮らせる地域に

精神保健福祉
ボランティア

「うらら」10周年記念講演

八戸

八戸市の精神保健福祉
ハートボランティア「う
らら」(小笠原幸子会長)

度、当事者や家族が集ま
る場を設けて支援するほ
か、ボランティア講座の
開催など、さまざまな活
動を展開している。

は24日、設立10周年を記
念した講演会を市総合福
祉会館で開いた。関係者

講演会では、五戸町の
イラストレーター和田昭
子さん(38)が、19歳で統
合失調症と診断された

が活動の節目を祝うこと
もに、精神障害がある人
が安心して暮らせる地域
づくりに向けて意識を新
たにした。

「今自分に何ができるか
を考えながら少しずつ挑
戦している。支えられて
いる家族、友人、大切な
出会いに、ありがとう、と
言い続けることを忘れな
いでいたい」と語った。

同団体は2006年1
月に設立し、現在は26人
の会員が在籍。月に1

和田さんは米国ニュー
ヨークで個展を開くこと
を今の目標としており、
「精神障がい者と共に歩
む」と題して講演。「障
害者と共に生きることは
当たり前のこと。当たり
前を基本に物事を考えて
もらいたい」と呼び掛け
た。(渡部優)



「うらら」設立 10 周年記念講演（平成 28 年 4 月 24 日）



講演会を開催するに当たりイトヨーカドー
八戸沼館店にて、チラシ、ポケットティッシュ
を配り PR（平成 28 年 4 月 9 日）

＜役員会＞—10 周年記念講演会開催
打合せ

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支 出 (税込)	コピー代	2,100
	チラシ代 (@10×3,000 枚)	30,000
	ポスター (@80×30 枚)	2,400
	封筒	11,349
	切手 (@82×120 枚他)	8,865
	ノート	216
	八戸市総合福祉会館使用料	7,270
	横断幕	7,000
	ポケットティッシュ (@6×1,062 ケ)	6,372
	弁当代 (@450×7 ケ)	3,150
	講師料	35,000
	交通費	7,700
		支 出 計

<現在の活動状況>

- 1、回復者クラブ（当事者）毎月1回第3木曜日に、花見、ピクニック、カラオケ、おやつ作り等年間の行事に参加し年12回の交流と親睦を図る。
- 2、居場所（当事者及び家族）八戸市福祉公民館にて5月～10月まで月1回（年6回）第4金曜日11時より施設サービスや病気の事など、講師を招いて学習する。昼食をはさみ午後はフリートーキング14時頃解散。
- 3、市民活動フェスティバル（年1回）会員及び志のある方からリサイクル品を出品して頂き販売する。（貴重な活動資金になる）
- 4、精神保健福祉ボランティア講座（年1回）
社会福祉協議会の主催で主に統合失調症等についての勉強会。
（この講座で勉強した方が新規会員として入会、活動の輪が広がる）
- 5、青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会に所属し、協議会、交流会に参加する。
- 6、青森県県南地区家族会の研修会（持ち回り）に参加する。
- 7、「社会福祉協議会」「わいぐ」交流会に参加する。
- 8、「うらら」親睦会、新年会、総会等会員同士の交流を持ち和を持って活動するよう心がけている。
- 9、「うらら便り」の発行（年3回）
- 10、活動対象地域—青森県八戸市を中心に周辺の地域を対象として活動している。